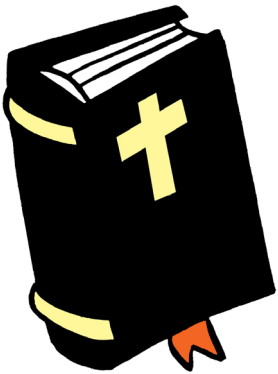




## しとぎょうでん 使徒行伝 : ろうやのとびらと ばんにん 番人の ころこ ころこ 心

(使徒行伝 第16章 9-40節)



あるとき、パウロは幻を見ました。マケドニアに来て、人々にイエス様のことを教へてほしいと招かれる幻でした。そこで、パウロとシラスはマケドニアのピリピへ行きました。

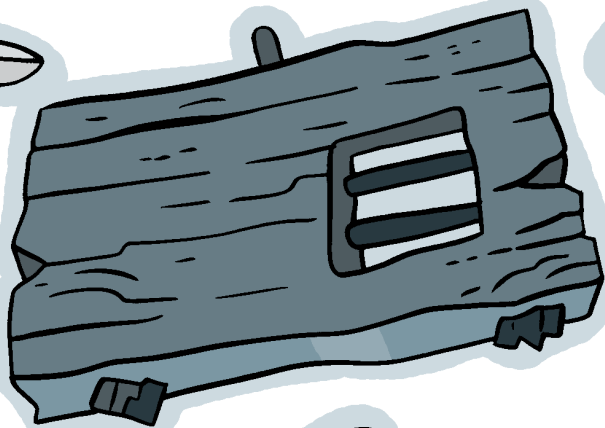
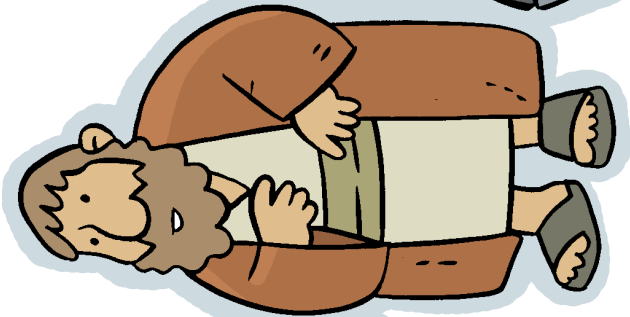
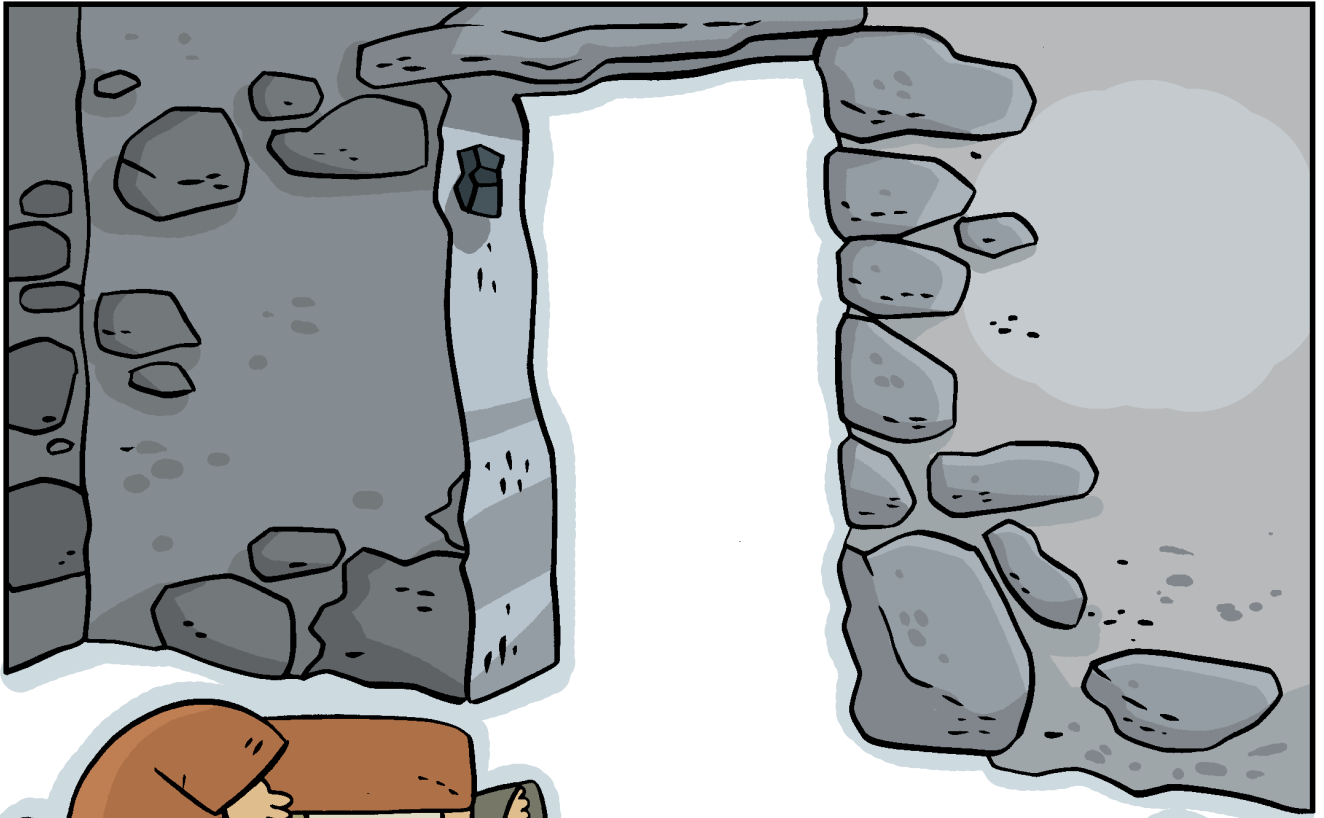
そこで会ったルデヤという名前の女の人は、パウロが教えたことを信じ、まもなく彼女もその家族も、バプテスマを受けました。

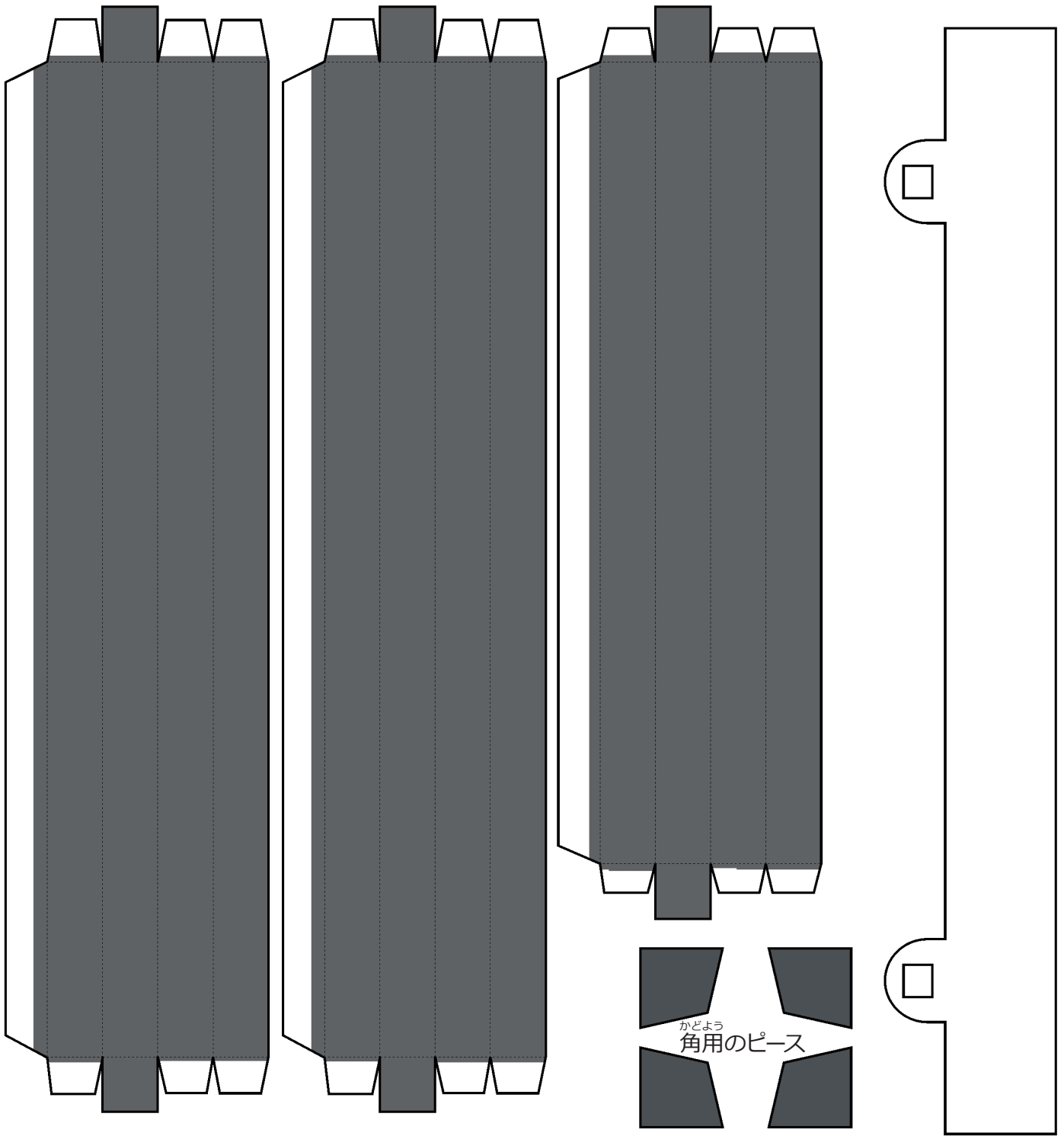
ピリピには、悪い霊にとりつかれたどれいの少女がいました。占いをして、主人にお金をもうけさせていたのです。その少女が、パウロとシラスについて来ては、二人をこまらせていました。そこでパウロは、その悪い霊に彼女から出て行くようと、イエスの御名で命じました。すると少女の主人はおこつて、パウロとシラスをつかまえ、役人に引き渡してろうやに入れさせてしまいました。

真夜中ごろ、パウロとシラスは、神様に祈ったり、賛美の歌を歌ったりしていました。ほかの囚人たちはそれに聞き入っていました。するととつ然、大地震が起こつて、ろうやのとびらが全部開き、囚人たちがつながれていたくさりも全部、はずれてしまいました。ろうやの番人は、囚人たちがにげてしまったのではないかと、非常におそろしくなりました。けれどもパウロは、だれもにげていないと言って、番人を安心させました。

ほっとした番人は、イエス様についてパウロが教へてくれることに耳をかたむけました。そして、番人もその家族も、イエス様を信じたのです。

次の日、パウロとシラスは、ろうやから出されたのでした。



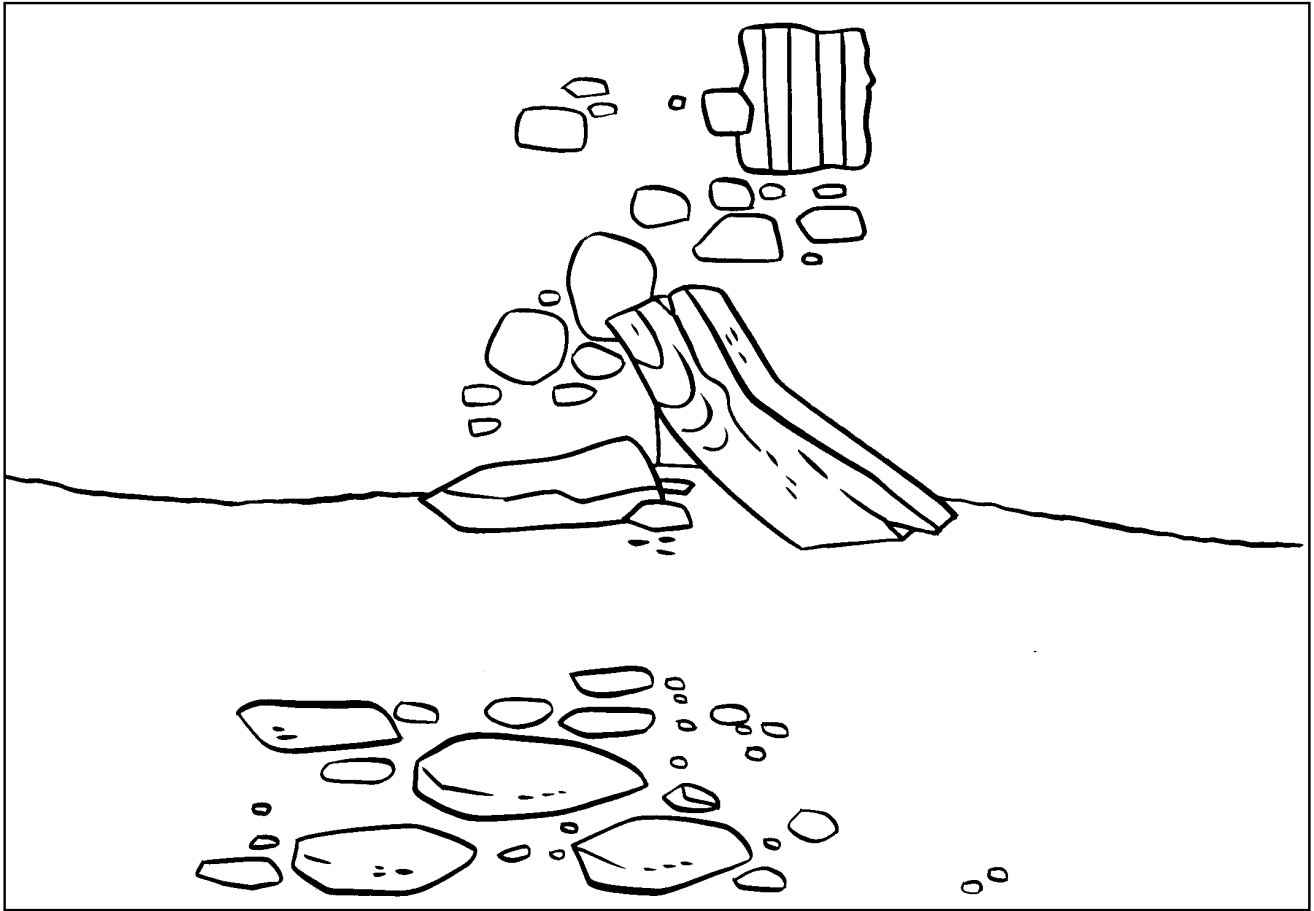


かどよう  
角用のピース



フレーム<sup>よう</sup>用のピース

ひち つ あと  
紐を付けた後に  
は つ  
貼り付けるピース  
シャドーボックスの  
つく かた  
作り方は[こちら](#)



## しとぎょうでん 使徒行伝 : ろうやのとびらと ぼんにん 番人の ころこ 心

(使徒行伝 第16章 9-40節)

ある時、パウロは幻を見ました。マケドニアに来て、人々にイエス様のことを教えてほしいと招かれる幻でした。そこで、パウロとシラスはマケドニアのピリピへ行きました。

そこで会ったルデヤという名前の女の人は、パウロが教えたことを信じ、まもなく彼女の家族も、バプテスマを受けました。

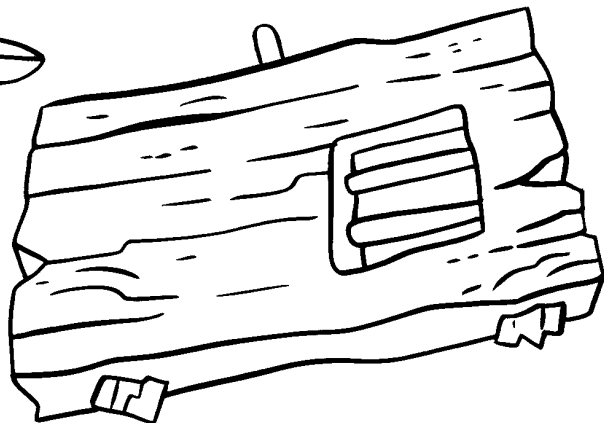
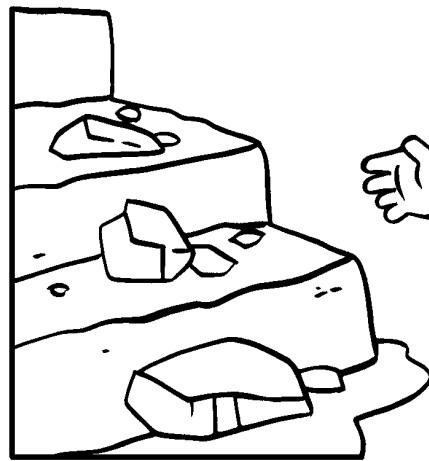
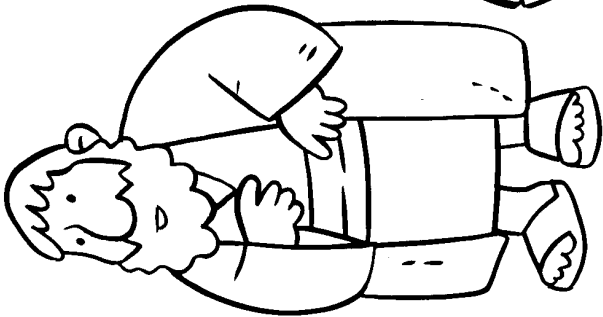
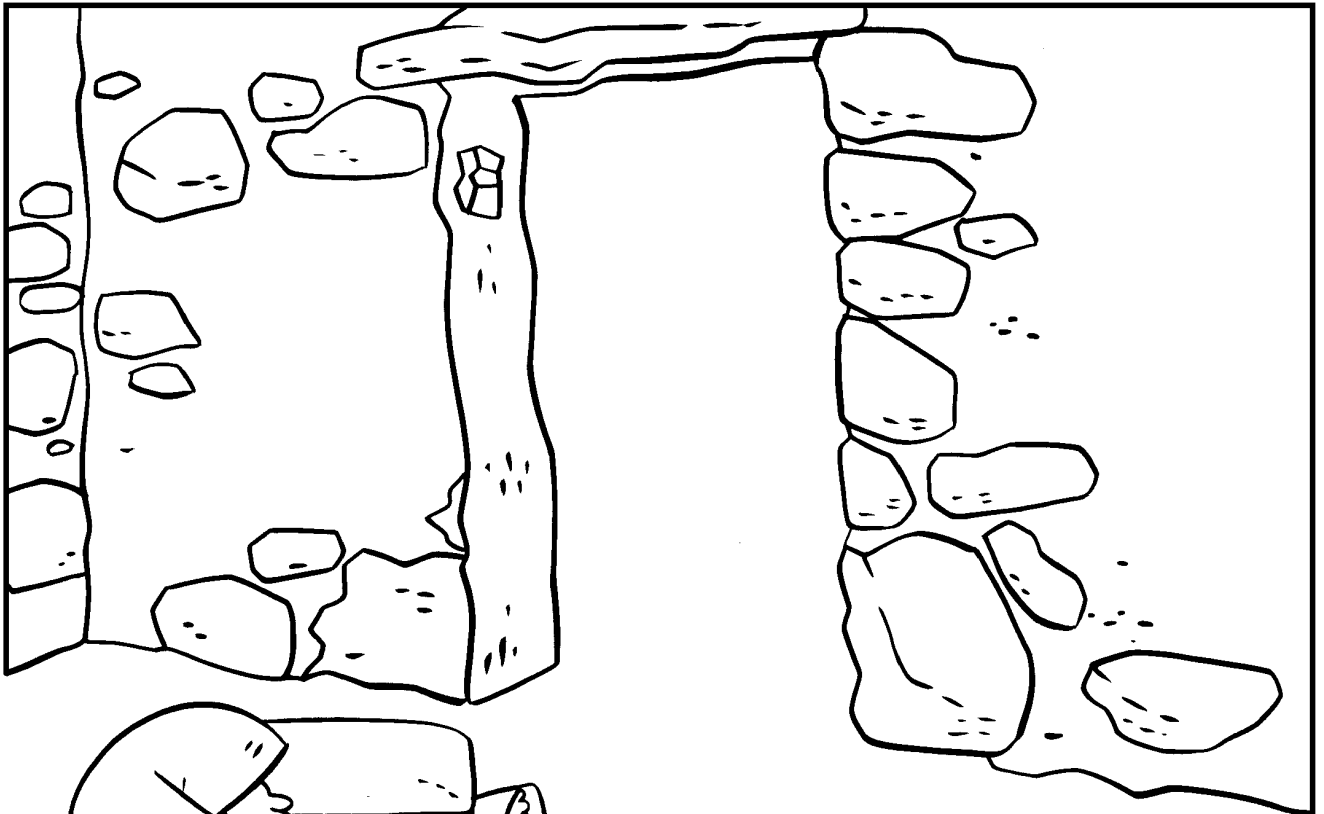
ピリピには、悪い霊にとりつかれたどれいの少女がいました。占いをして、主人にお金をもうけさせていたのです。その少女が、パウロとシラスについて来ては、二人をこまらせていました。そこでパウロは、その悪い霊に彼女から出て行くようにと、イエスの御名で命じました。すると少女の主人はおこって、パウロとシラスをつかまえ、役人に引き渡してろうやに入れてしまいました。

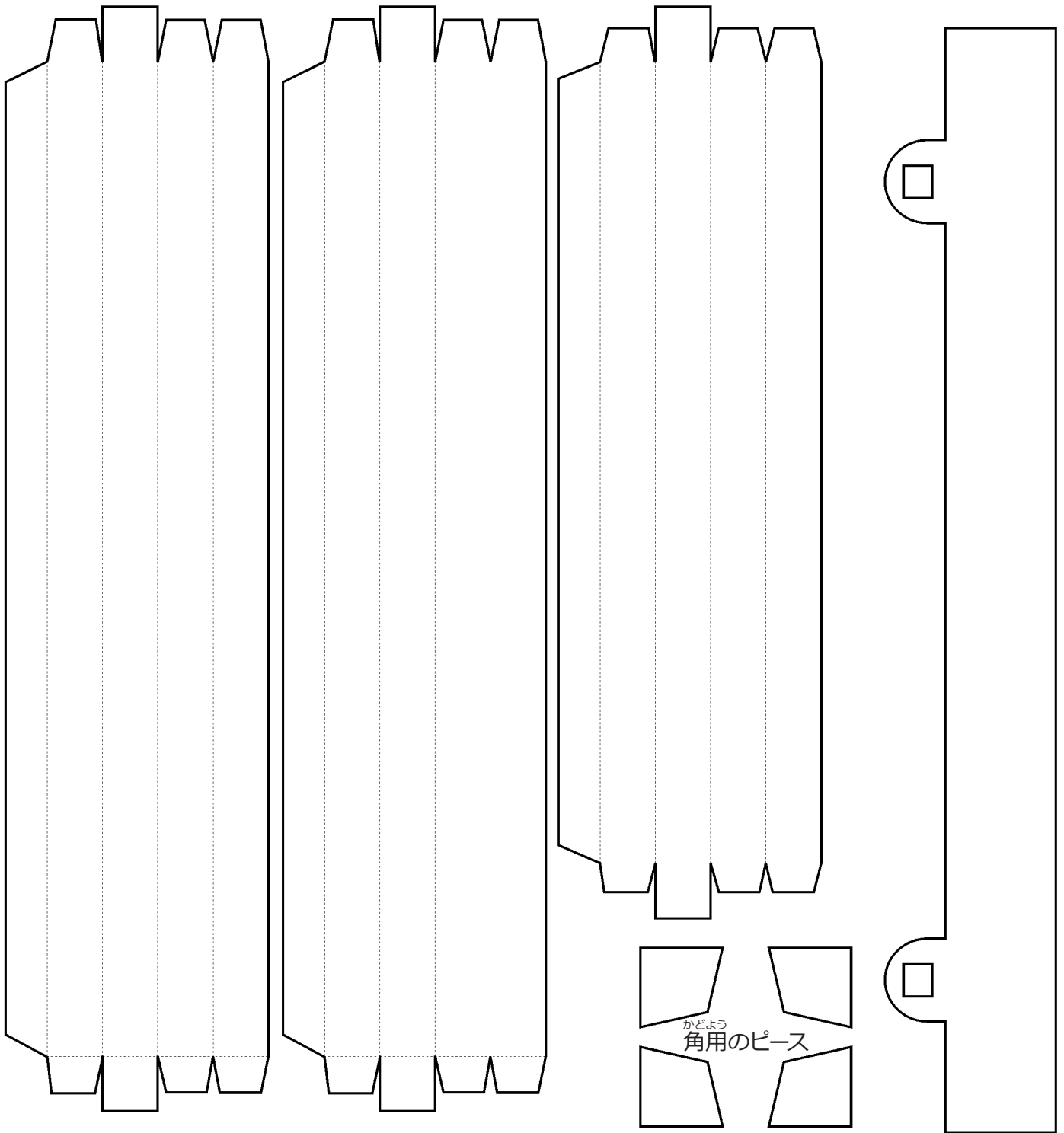
真夜中ごろ、パウロとシラスは、神様に祈ったり、賛美の歌を歌ったりしていました。ほかの囚人たちはそれに聞き入っていました。するととつ然、大地震が起こって、ろうやのとびらが全部開き、囚人たちがつながっていたくさりも全部、はずれてしまいました。ろうやの番人は、囚人たちがにげてしまったのではないかと、非常におそろしくなりました。けれどもパウロは、だれもにげていないと言って、番人を安心させました。

ほっとした番人は、イエス様についてパウロが教えてくれることに耳をかたむけました。

そして、番人もその家族も、イエス様を信じたのです。

次の日、パウロとシラスは、ろうやから出されたのでした。





かどよう  
角用のピース



よう  
フレーム用のピース

ひも <sup>つ</sup> 紐を付けた後に <sup>あと</sup> は <sup>つ</sup> 貼り付けるピース  
シャドーボックスの <sup>つく</sup> <sup>かた</sup> 作り方は [こちら](#)